赤い羽根共同募金にご協力を

10月１日から「赤い羽根共同募金運動」が行われます。

この募金は、社会福祉協議会の事業をはじめ、高齢者福祉事業、障がい者福祉事業、ボランティア団体や福祉施設への助成など「地域福祉の推進」のために活用されています。

ご協力をお願いします。

●**詳細**／芦別市共同募金委員会（総合福祉センター社会福祉協議会内）☎22-2194

第38回「防犯都市宣言」を記念する市民の集い 地域安全運動芦別市民大会を開催

安心して暮らせる安全な地域社会を目指すために、市民大会を開催しますので、多くの市民の皆さまの参加をお待ちしています。

〇**日時**／10月８日㈫午後２時～
〇**場所**／総合福祉センター２階大ホール
〇**講話**／消費者トラブルから身を守ろう
　　～身近に潜む悪徳商法～
〇**講師**／山口博美さん（北海道消費者協会非常勤講師）
●**詳細**／環境生活係☎27-7361

★市長だより★ 84

「芦別・炭鉱〈ヤマ〉とマチの社会史」を刊行された著者、早稲田大学文学部・嶋崎尚子教授をはじめとする同学部ゼミ生12人（３～４年生）とゼミ関係者の皆さんの17名が９月９日から宿泊交流センターを拠点に、５日間にわたる「石炭産業から戦後日本の労働、家族、地域を考えるゼミ」の一環で、本市を含む空知管内の産炭地を巡検された感想のほか、空知産炭地域の関係や閉山後の産業転換など本市の現状やまちづくりに関して同12日、福祉センターで懇談をさせていただき、学生の皆さんからは率直な意見、提言などもいただくなど、大変有意義な意見交流の機会とご縁をいただきました。

本市では３年目のフィールドワークで、来年も実施を予定されていると伺い、喜ばしく思うとともに、これからも継続いただけるよう期待しております。

昨年の地方創生アイデアコンペティションに続く第２弾として、北海学園大学経営学部・佐藤大輔教授ゼミの学生さんと芦別青年会議所の共同による、札幌圏４大学の学生さん24人と市内の小中学生、高校生、児童生徒の保護者、企業関係者の皆さんとの交流を通じ、芦別創生を考えるフィールドワーク「『好き』の降る里プロジェクト」が、同12日から３日間、市内で開催され、最終日の14日には、芦別のよさや好きなところを掘り起こしてコンペを競う発表会が福祉センターで行われました。

７グループから発表があり、いずれも芦別の「ひと」「もの」「こと」を通じて、芦別の魅力を引き出し、ストーリー性も豊かな内容で、改めて、芦別ならではの「よさ」を気づかせていただきました。

最優秀賞には、来場された皆さん全員による投票で、「いってらっしゃい。そして、お帰りなさい芦別。」をキャッチコピーに、芦別の若者や芦別以外の全員に「居心地のよさ、人のよさ」から「あったかすぎるよ芦別」と呼びかけ、「何もないから生み出す、創り出す」と、芦別創生へのヒントを投げかけられた、北海学園大学のグループが選ばれるなど、今後のまちづくりに活かす意義あるイベントとして、来年の開催にも期待しつつ、企画いただいたゼミ生の皆様、参加された大学生の皆様、ご協力いただいた芦別青年会議所様、市民並びに企業関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

早稲田大学文学部教授の嶋崎尚子様はじめゼミ生の皆さんが、空知管内でのフィールドワークを行い、大変有意義な意見交流をさせていただきました。

秋の全国交通安全運動・市民決起大会が、同14日、福祉センターで開催され、多年にわたり交通安全運動に尽力され、栄えある表彰を受賞された団体・個人の皆様に心から敬意と祝意を申し上げるとともに、本市から悲惨な交通事故を発生させないことの決議文が参加いただいた皆さん全員により採択されました。

これからの季節は、日ごとに日没が早まり、夕暮れの時間帯が帰宅や買い物の時間とも重なり、特に高齢歩行者の事故の発生が懸念されますことから、一人ひとりが交通安全意識の高揚と、家庭・地域・職場が一丸となって、交通ルールとマナーの実践にご協力をお願いいたします。

同15日、ご案内により出席をさせていただいた幸町敬老会が、であえーる緑幸団地集会所で、三菱町内会敬老祝賀会が、啓南多目的研修センターで開催され、参会された皆様のお元気ではつらつとしたお姿を拝見し、私も元気をいただいた思いで、大変嬉しく思うとともに、敬老の日を迎え心からの祝意と、これまで長きにわたり、地域や社会に尽くされてこられたことに深く敬意と感謝の意を表させていただきました。

人生１００年時代ともいわれる中、健康のマチを標榜する本市として、市民の皆様には、いつまでも健康でご長寿を重ね、安心して住み続けていただけるよう、医療・福祉・介護分野などに重点を置いた施策やまちづくりに一層意を用いてまいります。

季節の変わり目からも、市民の皆様には健康管理にご留意いただき、お元気でお過ごしください。（９月19日記）

芦別市長　**荻原　貢**